



三市中蒲の7市町村13校から14名が代表で自分の体験から学んだこと、意見などを述べた。

最優秀賞は金津中の小林忍さんに贈られた。

## 三市中蒲原郡少年の主張大会奨励賞

# 本当の勉強



小須戸中学校3年 落合裕美

ある日、私はこんなテレビを見ました。それは、都会の受験戦争をドキュメントしたものでした。小学生六年生の子が、有名私立中学に入るために、毎日学校が終ると塾に直行し、夕食は塾の休憩時間にとり、十時頃帰宅して、それからまた勉強して、十二時頃寝るというのです。私はこれを見たとき、偉いと思うよりも先に、なんだかかわいいそうに思えきました。その子は、家・学校・塾の往復以外の世界を何も知らないのです。そんな生活の中で、その子は、確かに五教科はできるかもしれません。しかし、もっと違う、何かもっと大切なものを、学ぶことができるのでしょうか。

私は、こんな話を聞きました。典型的な、学歴社会で育った医者のAさんのことです。彼は、私は、これを学ばせてくれたのは部活です。私は中学校に入学したときから、吹奏楽部に所属していました。一年生歓迎会で吹奏楽部の演奏を聞いたとき、一番華やかで、輝いて見え、私もこんな風になれたらいいなと思って、入部してみると、みんなの前で演奏する時の華やかさとは全く違い、「基礎練習」といわれる、つまらない地味な活動が、毎日続きました。練習は時間いっぱいやつたので、家に帰ると、疲れてすぐ寝てしまう。しかし、入部してみると、いかがだったのではないかと悩むい、勉強もあまりできません。吹奏楽部に入ったことは、まことに、なにかと理由をつけては、サボりがちになってしま

つてもつと大切な、毎日の生活の中から、学ばなければいけないことが、沢山あるということ

を、忘れないがちです。私は、高校受験を目前にして、どう

かいつも勉強ばかりしていて、人間と競争し、勝つことばかりを考えているうちに、人の気持ちのわからない、冷たい人間になってしまった。彼は、一流大

学を優秀な成績で卒業し、医者になりました。それを聞いた母

は、「そんな冷たい人が、患者さんを元気にすることができるんだろうかね」と、言つていました。私も、そんなお医者さん

には、かかりたくないような気がします。(これは、とにかく五

教科ができればいいという、学

歴社会が生み出した、一つの例

だと思います。どんなに五教科

が良くできても、人を思いやる心」がなければ、「人間としての勉強」ができるいないといえるでしょう。

私は、これを学ばせてくれたのは部活です。私は中学校

に入学したときから、吹奏楽部

に所属していました。一年生歓

迎会で吹奏楽部の演奏を聞いたとき、一番華やかで、輝いて

見え、私もこんな風になれたらいいなと思って、入部してしま

す。しかし、入部してみると、

みんなの前で演奏する時の華や

かさとは全く違い、「基礎練習」といわれる、つまらない地味な

活動が、毎日続きました。練習

は時間がいっぱいやつたので、家

に帰ると、疲れてすぐ寝てしまうといわれる、つまらない地味な

活動が、毎日続きました。練習</

